

2008年度下半期 商社の環境保全活動

商社は従来から、地球温暖化への対応や循環型社会の構築に、日常業務やビジネスの場で、また、社会貢献活動の一環として取り組んでいる。本稿では、社員、家族および一般市民参加型の環境意識の啓発活動を中心に、2008年度下半期における当会法人正会員の主な事例を紹介する。

社員やその家族等が実際に参加することで、地球環境の重要性を実感し、環境意識のより一層の向上を図れるよう、各社がビジネスを展開する地域や、縁のある地域等を中心にさまざまな活動を企画したり、また、一般公募の活動を紹介し、参加を促している。

これに対して、参加者からは、

- 初めて森林ボランティア活動に参加したが、日本の健全な山の維持が大変なこと、専任として働いている方の苦労をあらためて知ることのできる良い機会であった
- 水田の再生により、動植物など周囲の生態系が回復する様子を目の当たりにして、環境保全に対する意識を新たにしたい
- かつて自分が植えた木が4~5mと、たくましく育っていた姿を見て感激した
- 自然環境の保護に役立つ社会貢献活動ができて気持ち良かった
- 子どもや家族ぐるみで環境問題を考えるきっかけとなった

等の感想が聞かれた。

また、社内セミナーについては、

- 生産工程、商品企画の両面で、環境影響を評価する必要があることを認識した
- 環境経営度トップ企業の取り組み事例を、自社における取り組みの参考としたい

等の感想が聞かれた。

一方で、企業の環境担当からは、今後、環境教育、啓蒙中心の活動だけでなく、直接的に環境保全に効果を及ぼす活動も検討していきたい、全員が日常的に参加できる活動をさらに検討していきたい等の課題が挙げられている。

1. 日常生活における継続的な環境保全活動

多くの会員会社において、ポスターの掲示やイントラネットへの掲示、館内放送やメール配信等による、節電の徹底、ウォームビズの推進等に取り組んでいる。

また、使用済み切手や葉書の回収による廃棄物の削減、エコキャップの回収によるペットボトルの再資源化率の向上とともに、これらの収益による社会貢献活動を推進している。

2. 環境問題への理解促進

(1) 公開セミナー

- 岩谷産業 イワタニ水素エネルギーフォーラム2008「低炭素社会へのアプローチ」(10月21日、大阪(オーバルホール))。ビジネスマンなど約270名参加。講師等：近畿経済産業局 資源エネルギー環境部長 井岡秀自氏、東京工業大学大学院 教授 岡崎健氏、(財)日本自動車研究所 FC・EVセンター長 渡辺正五氏、パナソニック(株) 燃料電池事業化プロジェクト顧問 柴田恒雄氏、トヨタ自動車(株) FC開発本部FC技術部企画総括室開発企画グループ主幹 三谷和久氏)
- 岩谷産業 イワタニ水素エネルギーフォーラム2008「低炭素社会へのアプローチ」(12月1日、東京(経団連会館))。ビジネスマンなど約330名参加。講師等：経済産業省資源エネ

ルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部新エネルギー対策課長 渡邊昇治氏、元財務大臣 塩川正十郎氏、(財)地球環境産業技術研究機構 地球環境産業技術研究所東京分室長 主席研究員 伊東明人氏、(財)エネルギー総合工学研究所 プロジェクト試験研究部部長 副主席研究員 坂田興氏、モータージャーナリスト 清水和夫氏、横浜国立大学大学院教授 太田健一郎氏等)

- 伊藤忠商事 第17回伊藤忠シンポジウム「地球温暖化とその社会影響」(1月28日、東京本社。2月26日、大阪本社。本社・グループ会社社員、一般市民等計約420名参加。講師：東京大学 気候システム研究センター教授 中島映至氏、(独)国立環境研究所 地球環境研究センター温暖化リスク評価研究室長、東京大学 気候システム研究センター客員准教授 江守正多氏)
- 三菱商事 第50回丸の内市民環境フォーラム「国連開発計画 (UNDP) 親善大使として、見たこと感じたこと」(東京海上日動火災保険(株)、(株)日本航空と共催) (3月3日、三菱商事丸の内オフィス。約280名参加。講師：女優 紺野美紗子氏)

(2) 環境教室

- 岩谷産業 水素サイエンス教室 (1月15日、愛

媛県松山市立たちばな小学校5年生99名。1月16日、同西条市立飯岡小学校6年生42名など、14ヵ所・1,000名以上参加。講師：若手社員等)

(3) 社内セミナー

- 丸紅 廃棄物処理セミナー (9月17日、東京本社。9月18日、大阪本社。本社・グループ会社社員計293名参加)
- 伊藤忠商事 廃棄物処理法講習会 (10～3月、計12回。東京本社。本社・グループ会社社員計約400名参加。講師：地球環境室)
- 住友商事 廃棄物処理委託に関するセミナー (11月5日、東京本社。講師：中間処理委託先企業。本社・グループ会社社員161名参加)
- 三井物産 環境セミナー「地球温暖化の解決に向けた日本の役割」(11月10日、東京本社。本社・グループ会社社員154名参加。講師：東京大学 名誉教授 安井至氏)
- 丸紅 環境セミナー「親子で考えようー今、地球のためにできること」(11月20日、東京本社。本社・グループ会社社員・家族65名参加。講師：環境ジャーナリスト 枝廣淳子氏)
- 三井物産 環境セミナー「京都議定書の目標達成と長期的対策～技術、社会システム、制度、街づくり～」(1月19日、東京本社。本社・グループ会社社員107名参加。講師：環境省 大臣官房長 南川秀樹氏)



第50回丸の内市民環境フォーラム (三菱商事提供)



水素サイエンス教室 (岩谷産業提供)



環境標語・写真・絵画の募集(優秀作品)(丸紅提供)



第4回谷津田再生プロジェクト(三井物産提供)

- 豊田通商 環境セミナー「トヨタ自動車の環境取組み紹介～「3つのサステナビリティ」の追求～」(1月30日。名古屋本社、東京本社(テレビ会議システム)。本社役員・本部長、グループ会社代表者など95名参加。講師：(株)トヨタ自動車CSR・環境部担当部長 川口隆守氏)
- 丸紅 CSR・環境委員会勉強会「CSR・環境の時代に企業経営に求められるもの～持続的な成長のために」(2月16日。同委員会委員42名参加。講師：環境ジャーナリスト 枝廣淳子氏。)
- 三井物産 環境セミナー「生物多様性の大切さ～生態系サービスから考える」(3月12日、東京本社。本社・グループ会社社員133名参加。講師：東北大学大学院 生命科学研究科教授 中静透氏)
- 伊藤忠商事 土壌汚染問題セミナー(3月17日、東京本社。本社・グループ会社社員約170名参加。講師：イー・アール・エム日本(株))
- 伊藤忠商事 改正省エネ法(荷主)セミナー(3月23日、東京本社。本社・グループ会社社員約40名参加。講師：佐川急便(株))

(4) 研修等

- 伊藤忠商事 環境一般教育eラーニング(9月末～11月末。対象：本社・一部グループ会社社員)

- 丸紅 環境基礎知識eラーニング(10～12月。対象：全社員)
- 三井物産 CSR映画の夕べ「アース」上映(1月22日、2月5日、東京本社。社員計約100名参加)
- 丸紅 エコ検定受験推奨(10～11月。メールで全社員に告知)

(5) 公募

- 丸紅 環境標語・写真・絵画の募集(3月発表。対象：全社員。標語7点、写真18点、絵画1点応募。事務局：CSR・地球環境室)

3. 地域における環境保全活動

(1) 森林資源保全

① 主催

- 三井物産 第10回三井物産・森林体験教室「森と自然とふれあおう！」(10月18～19日。福島県田代社有林。一般公募親子27名参加。間伐体験、田代山への登山と高層湿原の植物観察)
- 三井物産 谷津田再生プロジェクト2008年度第4、5、6回プログラム「稲刈り」「里山の手入れ－地酒仕込み」「里山の手入れ－新酒蔵出し」(10月25日、1月10日、2月28日。本社・グループ会社社員・家族 各55名、40名、55名参加。5月に田植えを行った稲を刈り取り、日本酒の仕込み、蔵出し等を体験)

- 三井物産 株主向け「森林環境プログラム」(11月10日、12月6日。千葉県亀山社有林。株主・同家族63名参加。三井物産フォレスト、森林インストラクター指導による間伐体験、プロ・ナチュラリスト 佐々木洋氏の解説による自然観察)
- 三菱商事 第5回ボルネオ熱帯雨林植樹の旅(11月22～27日。本社・グループ会社社員・家族等40名参加。講師：(財)地球環境戦略研究機関 国際生態学センター長 宮脇昭氏)
- 双日 森林ボランティア(エネルギー・金属資源部門(現エネルギー・金属部門)内研修) 3月14日、神奈川県立21世紀の森。社員29名参加。森林インストラクターから講義を受けた後、間伐作業)
- 三菱商事 千年の森 森林保全パートナーズ協定(2月3日。高知県、安芸市、安芸市森林組合と締結。約210ヘクタール)

② 協力

- メタルワン 森林整備(新潟県主催)(10月11日、海の森真砂会場。支店社員・家族7名参加)
- 阪和興業 花のおもてなし運動(中部経済同友会主催)(10月26日、2月13日。名古屋市桜通大津交差点周辺。社員各4名参加。花の植え込み)
- メタルワン 森林整備(広島県主催)(10月26日、広島県立もみのき森林公園。支社・グループ会社社員・家族56名参加。間伐、徐伐)
- 住友商事 浜離宮恩賜庭園 環境保全活動(中央ぷらねっと(中央区社会貢献企業連絡会)企画)(11月15日、社員7名参加、カノコユリの球根植え付け等。2月28日、同14名参加、松の菰外し等)
- 三菱商事 タイのマングローブ植林(タイ環境省主催)(11月29日、ウェル・ウエトランド国立公園。現地社員45名参加)
- 三菱商事 中国・貴州省植林(中国緑化基金会主催)(2月27日～3月1日、貴州省凱旋里地

区。現地社員約40名参加)

- メタルワン 植樹(名古屋市主催)(3月22日、戸田川緑地。支社社員・家族13名参加)

(2) 美化運動

① 主催

- 阪和興業 船橋清掃活動(毎月。阪和流通センター周辺一般道路。毎回社員約10名参加)
- メタルワン 市街地清掃(7月6日、富山、2名。8月3日、富山、2名。8月5日、大阪、101名。9月6日、札幌、29名。10月2日、高松、23名。10月11日、長崎、13名。11月11日、大阪、103名。12月7日、福岡、24名。3月5日、高松、25名。3月26日、福岡、33名。支社・支店・グループ会社社員・家族参加)
- メタルワン 第11回秋の海浜清掃(10月18日、江ノ島。本社・グループ会社社員・家族247名参加)
- メタルワン 芝公園資源ゴミ回収(10月21日、本社薄板・自動車グループ社員77名参加。3月23日、同70名参加)
- 三井物産 アルピニスト野口健と行く!富士山麓清掃活動Vol.5(11月15日、本社・グループ会社社員・家族59名参加)
- 丸紅 丸紅クリーンアップ運動(11月16日、舞鶴公園(福岡)周辺。支社・グループ会社社員20名参加)
- 豊田通商 トヨタクリーンネット(トヨタグループ主催)(11月27日、豊田支店周辺。支店社員35名参加。道路、駐車場の清掃)

② 協力

- 双日 赤坂 街のおそうじ活動(グリーンバード赤坂チーム企画)(毎月第2、4火曜日、赤坂。本社・グループ会社社員参加。)
- 阪和興業 平成21年度秋季かすがいクリーン大作戦(春日井市主催)(11月2日、寮周辺。社員18名参加)

- 大阪市一斉清掃「クリーンおおさか2008」
(大阪市主催)

丸紅 11月3日、大阪支社周辺。支社・グループ会社社員、地域住民330名参加

阪和興業 11月5日、御堂筋。社員40名参加。

豊田通商 11月6日、御堂筋。支店・グループ会社社員38名参加

- 丸紅 安心・安全で快適な街づくりキャンペーンなごや2008 (中部経済同友会地域開発委員会主催) (11月13日、久屋大通公園周辺。社員11名参加)
- 三菱商事 デュッセルドルフ美化運動 (デュッセルドルフ市主催) (3月21日、ライン河畔。現地社員・家族23名参加)

(3) リサイクル運動

- メタルワン 古本の回収 (10月、3月。各323冊、250冊。東京本社鉄鋼製品・国内グループ、経営企画・業務・事業開発・人事グループ。回収、選別し、公立図書館へ寄贈)
- 双日 日本語図書回収 (12月。159冊。ベトナム・ダナン外国語大学日本語学科へ寄贈)
- メタルワン 古着の回収 (AAAアジア&アフリカ主催) (11月。140点。名古屋支社。途上国へ送付し活用)

4. 環境製品・サービスの普及

- 岩谷産業 第29回佐賀国際ナショナルパ



クリーンおおさか2008 (阪和興業提供)



第5回エコプロダクツ国際展出展 (住友商事提供)

- ルーンフェスタ (本田技研工業(株)など協賛) (11月3~7日。佐賀市嘉瀬川河川敷。103機・14カ国参加。94.3万人来場。クリーンエネルギーLPガスをアピール)
- 住友商事 エコプロダクツ2008 (テーマ「もうできる! CO₂マイナス50%エコライフ」) 出展 (社産業環境管理協会、(株)日本経済新聞社主催) (12月11~13日。東京ビッグサイト。17.4万人来場。リサイクルタイヤカーペット等を紹介)
- 第5回エコプロダクツ国際展出展 (アジア生産性機構など主催) (3月19~22日。マニラ。128社・団体参加。ビジネスマン、一般市民など8.3万人来場)
住友商事 スペインの太陽光発電、インドネシアの地熱発電など紹介
三菱商事 環境関連のビジネス、CSR活動など紹介

5. 表彰

- 岩谷産業 第18回地球環境大賞「フジサンケイビジネスアイ賞」受賞 (フジサンケイグループ主催) (2月24日発表。受賞理由: 全国での水素エネルギー啓発活動、水素エネルギーフォーラム等を通じたネットワークづくり推進)

(企画グループ) JF TC